

がん対策の

ニュースレター



日本は、2人に1人が“がん”になり、3人に1人が“がん”で亡くなる世界トップクラスのがん大国です。がんの6割が治る今、がんを抱えながら働く人も増えています。これから一緒に、がんについて学んでいきましょう！ぜひ、あなたの大事なご家族や、職場のみなさんと読んでみてください。



Dr.中川のがん通信

～がんが転移するしくみ～

「がんもどき理論」が間違いである理由②

こんにちは。がん対策推進企業アクション議長の中川恵一です。前回、がんが転移する仕組みから考えると「がんもどき理論」は成り立たないことをご説明しました。がんの転移を司る遺伝子があるにせよないにせよ、いずれにしてもがんが転移する確率は時間とともに高まると考えられるためでした。

引き続き、がんもどき理論がなぜおかしいのかを考えてみたいと思います。そのためにまず、医学的に何らかの説を唱える際の根拠は何か、ということを考えてみたいと思います。

『医学的根拠とは何か』という本があります。この本では、歴史的に医学的根拠は3つ存在したと説明されています。それぞれ直感派、メカニズム派、数量化派と呼ばれています。

直感派は医師の個人的な経験を根拠とします。医師の経験を重んじる職人的な世界と言えます。メカニズム派は動物実験や遺伝子実験などの生物学的研究結果を根拠とします。人間の体、病気の仕組みをまるで精密機械を分析するように解明することを重視する立場です。試験管的な世界とも言えるでしょう。

数量化派では、人間を対象とした観察や実験結果を統計学的に分析した結果が根拠となります。実際に病気その他の事象が起きた数を数えていく世界です。

この3つは歴史的にこの順序で発生してきました。そして3つとも現在の医学を支える根拠となっています。しかし人間を対象に実際の治療などを行う際の根拠となるのは、数量化派であるという合意が20世紀後半に出来上がりました。医師の個人的経験や実験室の研究結果ではなく、実際の人間で観察された統計データを

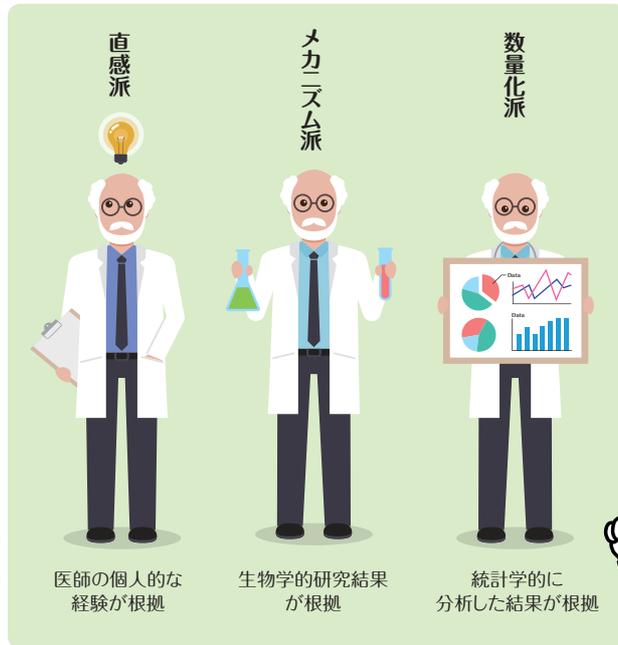
根拠にしようということです。

この視点からすると、がんが転移する仕組みから考えると「がんもどき理論」は成り立たない、という主張はメカニズム派からの反論であると言えます。がんもどき理論が実際の患者さんの治療方針とは関係のない、ただのメカニズムに関する仮説で終わるものであれば、反論もここまでで十分であると言えるでしょう。

しかし実際にはがんもどき理論は、だからがんは放置すべし、という「がん放置療法」と連続しています。これは完全に人間を対象

にした治療方針です。となれば、これについては数量化派の視点から反論が必要になります。

では、数量化派の視点からがんもどき説を支える根拠はあるのでしょうか。この点については、次回のニュースレターで引き続き扱いたいと思います。



中川 恵一(なかがわ けいいち)

東京大学医学部附属病院放射線科准教授。厚生労働省の「がん対策推進協議会」委員、「がん対策推進企業アクション」アドバイザーボード議長。「がんのひみつ」(朝日出版社)などのがんに関する著作多数、現在毎週日曜日、日経新聞朝刊で「がん社会を診る」連載中。

がん検診のススメ 第③版 内容のご紹介

「がんを知り、がんと向き合い、がんに負けない」ための情報を盛り込んだ冊子『がん検診のススメ 第3版』。2人に1人ががんになる日本。働く人やその家族の命を守るためには、がんについての知識を持つことが欠かせません。また、がんになっても働き続けられる環境づくりも大切です。



●この冊子は「がん対策推進企業アクション」の推進パートナーに新規登録していただいた企業の皆さまにお配りします。

◎はじめに

◎がん対策の「切り札」は、がんを知ること

- (Q1) 私でも、がんになりますか?
- (Q2) どうしてヒトはがんになるの?
- (Q3) よく「良性」「悪性」と聞きますが、違いはなんですか?
- (Q4) がんを防ぐには?
- (Q5) 感染による「がん」もあるって本当ですか?
- (Q6) 男性が気をつけるべきことは?
- (Q7) 女性が気をつけるべきことは?
- (Q8) がんの症状を教えてください
- (Q9) 一度がん検診を受けたら、しばらく受けなくてもいいですか?

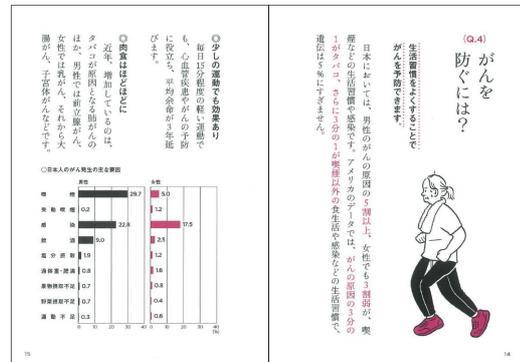
◎早期に見つければ、働きながら治せます

- (Q10) がんになったら、もう治らない?
- (Q11) がんになると、仕事を辞めなければなりませんか?
- (Q12) がん治療には、長期入院が必要ですか?

- (Q13) お金はどれくらいかかりますか?
- (Q14) がん検診にはどんなものがありますか?
- (Q15) がんは「放置」する方がよいと聞いたのですが?
- (Q16) がんの激しい痛みが怖いのですが?

◎おわりに

◎がん検診を受けるには?



公式サイトのご紹介

がん対策推進企業アクション

検索

<https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp>

がん検診に関する様々な情報をはじめ、就労支援に関するあれこれ、部位別5大がんの説明、検診の種類などの情報が満載です。



スペシャリストQ&A

本レターや公式サイトにてがんに関する専門家がこたえてくれるQ&Aコーナーを設置しています。

【がん検診に関する質問】をぜひお寄せ下さい。



●お問い合わせ方法

パートナー専用ページの問い合わせフォーム(メール)からお問い合わせください

このニュースレターは、がん対策推進企業アクションのパートナー企業の皆様に毎月1回お届けいたします。がん検診啓発ツールとしてお役にください。



●お問い合わせ先

がん対策推進企業アクション事務局

厚生労働省委託事業

平成28年度「がん対策推進企業等連携事業」

Tel. 03-3823-0056 Fax. 03-3827-1995

E-mail : info@gankenshin50.mhlw.go.jp